

第七話 空気を運ぶな!

自動車の組み立て用部品(CKDパーツとかコンポーネント・パーツと呼ぶ)は、世界中から集められる程ロジスティクスが拡散した。

女性が撮影しているのは、Hungary のスズキの工場である。そしてコート姿の男性二人が Container を三本並べて、利用率(詰め効率)をチェックしているのが、東京港である。どちらの写真もご覧の通り Container 内の空間が大きく空いている。これはでは海上運賃を払って空気を運んでいるようなものである。



【Hungary のスズキ工場にて撮影】



入港後、直ちにコンテナ内利用率(パッキング効率と呼ぶ)をチェックさせた。写真程度の利用率では改善(もっと詰める)命令を出すことになる。

【東京港のCYにて撮影】

私は自動車会社での勤務時代に、組み立て用部品の輸出部門、国内生産用調達部品の輸入部門、補給部品の輸出部門など、輸出または輸入で Container を取り扱う連中の通関書類をチェックしていた。

そしてこれだと思う Container を発見すると港か工場の現場に行き、開けさせて詰め合わせ効率をチェックしていた。

写真のような状態での輸出または輸入を、誰が指示したのか? 追求するのが仕事であった。そして殆どの答えが、生産が間に合わないから、少量でも送って欲しいと頼んだ(頼まれた)から…、運賃は物流部門が持つから…、生産を止めないことを最優先した…、という答えであった。

以上